

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 (仮称)KICONA宇治店

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q1 室内環境							0.33			2.9
1	音環境									
	1.1 室内騒音レベル									
	1.2 遮音									
	1	開口部遮音性能								
	2	界壁遮音性能								
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)								
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)								
	1.3 吸音									
2	温熱環境					2.6	0.58			2.6
	2.1 室温制御					3.0	0.50			
	1	室温		記入例:エアフローウィンドウの採用		3.0	0.38			
	2	外皮性能				3.0	0.25			
	3	ゾーン別制御性				3.0	0.38			
	2.2 湿度制御					1.0	0.20			
	2.3 空調方式					3.0	0.30			
3	光・視環境									
	3.1 屋光利用									
	1	屋光率								
	2	方位別開口								
	3	屋光利用設備								
	3.2 グレア対策									
	1	屋光制御								
	3.3 照度									
	3.4 照明制御									
4	空気質環境					3.5	0.42			3.5
	4.1 発生源対策					4.0	0.50			
	1	化学汚染物質				4.0	1.00			
	4.2 換気					3.0	0.30			
	1	換気量				3.0	0.50			
	2	自然換気性能								
	3	取り入れ外気への配慮				3.0	0.50			
	4.3 運用管理					3.0	0.20			
	1	CO ₂ の監視				3.0	0.50			
	2	喫煙の制御				3.0	0.50			
Q2 サービス性能							0.30			3.1
1	機能性					3.0	0.40			3.0
	1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40			
	1	広さ・収納性								
	2	高度情報通信設備対応								
	3	バリアフリー計画				3.0	1.00			
	1.2 心理性・快適性					3.0	0.30			
	1	広さ感・景観								
	2	リフレッシュスペース								
	3	内装計画				3.0	1.00			
	1.3 維持管理					3.0	0.30			
	1	維持管理に配慮した設計				3.0	0.50			
	2	維持管理用機能の確保				3.0	0.50			
2	耐用性・信頼性					3.0	0.30			3.0
	2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50			
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80			
	2	免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
	2.2 部品・部材の耐用年数					3.4	0.30			
	1	躯体材料の耐用年数				3.0	0.20			
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20			
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔				5.0	0.10			
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔				5.0	0.20			
	6	主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20			
	2.4 信頼性					2.8	0.20			
	1	空調・換気設備				3.0	0.20			
	2	給排水・衛生設備				3.0	0.20			
	3	電気設備				3.0	0.20			
	4	機械・配管支持方法				3.0	0.20			
	5	通信・情報設備				2.0	0.20			

3	対応性・更新性		3.4	0.30		-	3.4
	3.1 空間のゆとり		4.1	0.30		-	
	1 階高のゆとり		3.0	0.43		-	
	2 空間の形状・自由さ		5.0	0.57		-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30		-	
	3.3 設備の更新性		3.2	0.40		-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		5.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.37		-	2.2
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30		-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR	建築物のエネルギー消費性能		-	-		-	2.9
LR1	エネルギー		-	0.40		-	2.8
1	建物外皮の熱負荷抑制		5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化		2.0	0.50		-	2.0
4	効率的運用		2.5	0.20		-	2.5
	集合住宅以外の評価		2.5	1.00		-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制		2.0	0.50		-	
	集合住宅の評価			-		-	
	4.1 モニタリング			-		-	
	4.2 運用管理体制			-		-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30		-	2.8
1	水資源保護		3.4	0.20		-	3.4
	1.1 節水		4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60		-	2.8
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		2.6	0.20		-	2.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		2.5	0.70		-	
	1 消火剤		-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)	ロックウール使用のため、発泡剤は不使用	2.0	0.50		-	
	3 冷媒	CO2冷媒冷凍機	3.0	0.50		-	
LR3	敷地外環境		-	0.30		-	3.2
1	地球温暖化への配慮		3.0	0.33		-	3.0
2	地域環境への配慮		3.5	0.33		-	3.5
	2.1 大気汚染防止		5.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制		4.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33		-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音		3.0	0.50		-	
	2 振動		-	-		-	
	3 悪臭		3.0	0.50		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制		3.0	-		-	
	3 日照阻害の抑制	日影規制なし	3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70		-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	